

ナムアバンク(NAB)



《企業紹介》

ホーチミン市を拠点とする著名なベトナム人実業家グエン・チャン氏が仲間と共に、銀行参入自由化直後の1992年に設立した、アジア商業銀行などと並ぶ民間資本としては最も古い商業銀行のひとつである。保守的な融資姿勢が特徴であり、家族経営でありながら、マクロ経済が混乱に陥っても経営危機に瀕するようなことは一度もなかった。2023年にホーチミン市場に株式を公開した。

技術や業務改革には積極的に取り組む姿勢は創業者達の起業家精神を受け継いでおり、2019年にベトナム初の人工知能搭載ロボット行員導入を行ったほか、デジタルネイティブ世代をターゲットにしたバーチャルバンキングを積極的に進め、経済成長によって拡大しているベトナムの中産階級や中堅企業をターゲットにした業績拡大戦略を探っている。

《2025年7-9月期業績》

2025年7-9月期の営業収入は前年同期比15.3%増の2.5兆VND(ベトナムドン)だった。手数料等収入が前年同期の落ち込みの反動によって同44.9%増の1,737億VND、その他収入が同183.8%増の3,650億VNDと大きく伸びたことがけん引役だった。一方、金利収入は同2.7%増の2.0兆VNDにとどまった。貸出債権残高は同21.0%増の195.5兆VNDとなったが、預貸利ザヤの悪化が響いた。預貸利ザヤの悪化は4-6月期に継続して調達コストの上昇によるものとみられる。営業費用は同2.2%増の9,482億VNDに抑制されたが、貸倒関連費用が同66.0%増の3,563億VNDに増加したため、税前利益は同16.7%増の1.2兆VNDとなった。純利益は同18.5%増の1.0兆VNDだった。同社は2025年12月期の税前利益を同10.0%増の5.0兆VNDと計画している。2025年1-9月累計の税前利益実績は3.8兆VNDであり、計画に対する進捗率は76%に達している。計画の進捗は順調とみることができるだろう。

同社の2025年9月末の総資産は同138.2兆VND増の377.0兆VNDに急増した。これは銀行間取引残高の急増が要因とみられる。資産サイドでは他の金融機関への貸出が同72.6兆増、負債サイドでは他の金融機関からの借入が同66.4兆VNDとなっており、総資産増加額の5割近くを占めている。

図表1 四半期業績の推移(単位:十億VND)

	2024年7-9月期		2024年10-12月期		2025年1-3月期		2025年4-6月期		2025年7-9月期	
		前年同期比(%)		前年同期比(%)		前年同期比(%)		前年同期比(%)		前年同期比(%)
営業収入	2,248.8	63.4	2,552.1	-7.3	2,276.3	15.5	2,695.6	16.4	2,593.5	15.3
(うち金利収入)	2,000.3	52.6	2,011.6	-10.4	2,112.2	23.0	2,122.1	-3.9	2,054.8	2.7
(うち手数料等収入)	119.9	18.4	174.8	48.9	123.1	-41.0	135.4	44.6	173.7	44.9
(その他収入)	128.6	-	365.7	-6.6	41.1	-9.3	438.1	3,088.3	365.0	183.8
営業費用	927.8	-4.5	1,338.5	36.3	815.7	-5.4	802.1	-6.4	948.2	2.2
貸倒関連費用	214.6	-	-44.7	-	240.1	120.7	614.4	153.6	356.3	66.0
税前利益	1,106.4	111.9	1,222.4	-2.8	1,224.6	22.5	1,295.6	6.5	1,291.2	16.7
純利益	870.4	109.5	966.8	-2.3	976.1	22.3	1,034.7	6.5	1,031.4	18.5
貸出債権残高	161,666.6	23.5	165,672.9	18.4	175,538.7	21.0	190,329.5	23.1	195,579.9	21.0
貸倒比率(年換算、%)	0.5	-	-0.1	-	0.5	-	1.3	-	0.7	-

注1 収入は全て対応費用を差し引いた純額 注2 貸倒比率は貸倒引当金/貸出債権残高×4(年換算)で計算(%)

出所 会社資料をもとに当社作成

ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会

主な事業 金融商品取引業

有効期限作成日より180日

News20251104

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものですが、その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。

ナムアバンク(NAB)

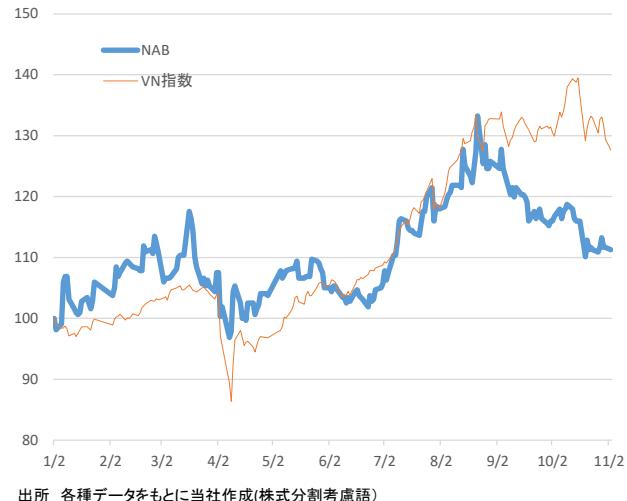


《株価の動向》

同社の株価とVN指数を、2023年末終値を100としてそれを指数化したものが図表2である。同社の株価パフォーマンスは2025年の年初から概ねVN指数と同等のパフォーマンスとなっていたが、9月初旬からは明確なアンダーパフォームに転じている。2024年末に対する11月3日終値時点の上昇率はVN指数の28%に対して同社は11%となっている。11月3日終値14,200VNDベースの時価総額は19.4兆VNDであり、それは2024年12月期実績の純利益3.6兆VNDに対して5.4倍の水準となっている。

営業費用の圧縮で純利益は増加傾向を維持し、会社計画の進捗も順調だが、資金調達コストの上昇によって中核事業である金利収入の伸び悩みが続いていることが株価パフォーマンスにマイナスの影響をもたらしている可能性がある。同社は慎重な経営姿勢が評価されている面があるだけに、総資産の増加についても、利益率はやや低いが、より安全性の高い銀行間取引に注力しているとみなされ、同業他社に比べて利益成長率が劣後するとみられているのかもしれない。株価パフォーマンスの改善には、金利収入の安定した増加と収益性改善が必要だろう。

図表2 株価推移



出所 各種データをもとに当社作成(株式分割考慮語)

ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
主な事業 金融商品取引業

有効期限作成日より180日

News20251104

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものですが、その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。